

入札監視委員会定例会議 議事概要

- 1 開催日 平成27年5月25日（月）
- 2 場所 都市再生機構九州支社 第2会議室A
- 3 委員
[委員長]
齋藤参郎（大学教授）
[委員]（五十音順）
伊藤祐二（弁護士）、小山智幸（大学准教授）
※外井哲志（大学准教授）委員は所用により欠席
- 4 審議対象期間 平成26年10月1日～平成27年3月31日
- 5 抽出件数

	入札方式別	抽出件数
1	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、一定の関係を有するものとして情報公開の対象となっている法人との契約（工事）	1件
2	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、落札率が高い契約（工事）	1件
3	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、一者応札・応募の契約（工事）	該当なし
4	指名競争入札方式（工事）	1件
5	随意契約方式（工事）	1件
6	一定の関係を有するものとして情報公開の対象となっている法人との契約（業務等）	1件
7	落札率が高い契約（業務等）	1件
8	一者応札・応募の契約（業務等）	1件
抽出件数（計）		7件

- 6 委員からの意見・質問それに対する回答
別紙のとおり。

以 上

	意見等	回答
1	<p>【26-宝台ほか5団地給水施設（受水槽）改修その他工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違う種類の工事を一緒に発注した大括り化の理由は？ ・大括り化したことにより、Aランク工事となったのか？ ・なぜ、1者応札となったのか？ ・複数の競争参加者が確保されるよう適切な単位、要件設定を考慮し、少なくとも1者のみの応札となることのないよう留意されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受水槽の劣化が進んでいる団地があり、対応に急を要したことから、直結増圧化対応可能団地については直結増圧化対応工事、それ以外の団地については、受水槽改修工事を実施する予定で発注した。 ・従来Bランク工事で発注していたが、福岡都市圏にて直近で発注した4件のうち3件が不落となっていたことを考慮し、工事の緊急性と併せ、大規模事業者の参加が見込まれるAランク工事とした。 ・東日本大震災の復興事業や東京オリンピック需要等への対応で技術者を配置しており、本工事への技術者の配置が困難だったと聞いている。 ・一者応札とならないよう適切な単位、要件設定について検討する。
2	<p>【26-大塚台団地外壁修繕その他工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が高いが、その要因をどう考えているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・当団地においては、過去に2回入札を実施しており、いずれも不落であった。今回の落札者は過去2回の入札にも参加しており、その結果を踏まえた応札で、結果的に高い落札率になったのではないかと思料する。
3	<p>【26-原ほか1団地土木修繕その他工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	

4	<p>【城野駅北地区雨水21号線排水及び道路整備その他工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、一者応札となったのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・配置技術者の不足で、他の業者が参加要件を満たさなかったため応札しなかったと聞いている。
5	<p>【平成27・28年度福岡工事事務所管轄内工事監督（総主任）業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務は、どのように遂行するのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・機構の組織である福岡工事事務所において業務を実施している。
6	<p>【UR賃貸住宅の保全工事等に係る発注支援業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術評価点は公表しているのか？ ・審査において、特定の者が有利になっているのではないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札経過調書において技術評価点の合計を公表している。 ・技術評価点の項目は予め提示しており、機構が求める基準に基づいて評価している。
7	<p>【飯塚本町東地区航空画像表示システム作成業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	